

特集

小説の舞台を辿る / 冬だけの絶景に会いに

旅の手帖

ニッポン文化応援マガジン

2022

2

JRグループ協力
オールカラー
定価650円

ついに決定!
飯出敏夫選

温泉
百名山

作者が描いたあの場所へ

小説の 舞台を辿る

後世に残したいカルチャータウン・下北沢

『もしも下北沢』 よしもとばなな

乙女気分で京都の街をそぞろ歩く

『夜は短し歩けよ乙女』 森見登美彦

高知はまるごとレジャーランド

『県庁おもてなし課』 有川ひろ

語り継ぐ坂の町・長崎の歴史

『だから荒野』 桐野夏生

今しか見られない!

冬だけの絶景に会いに

雄大なロマンあふれる銀世界 オホーツク海の流氷 北海道網走市・斜里町

庄巻のスケールで表情を変える 袋田の滝の氷瀑 茨城県大子町

夜の姿こそなかなか見られない 志賀高原 横手山の樹氷 長野県山ノ内町

1977年5月20日創刊 定価500円(税別) 2022年2月号 1,800円(税別)

息遣いを感じ、作品の世界に入り込む

文豪たちゆかりの温泉宿へ

好みの温泉地を見つけては、逗留して執筆活動に没頭した文豪たち。

彼らが愛した宿で同じ景色を眺めれば、作品の世界を深く堪能できる。本を手に歴史深き宿を訪れよう。

鉛温泉 藤三旅館

岩手県花巻市

古きよき湯治文化が今も息づく、総ケヤキ造りの風格ある一軒宿。許されぬ男女の恋愛を描いた小説『銀心中』の舞台で、白猿の湯も作中に登場する。深さ約1.25mの湯船の底から源泉が湧き出る日本一深い自噴温泉だ。

☎0198・25・2311 / 1泊2食9000円～ / 日帰り入浴7:00～21:00、無休。700円 / 32室 / アルカリ性単純温泉 / 岩手県花巻市鉛中平75-1 / JR東北本線花巻駅から車30分(宿泊者のみ送迎あり)



田宮虎彦『銀心中』

左 / 天然岩をくりぬいて造られた白猿の湯は立って入浴するスタイル
下 / 田宮虎彦が1カ月余り滞在した3階客室は当時のまま残っている



林芙美子『温泉宿』

右 / 天城の天狗が湯浴みにきたという伝説が残る天狗の湯。洞窟風呂につながっている。下 / 『温泉宿』で『菊の間』として描かれた客室「青水沫」



湯ヶ島温泉 おちあいろう

静岡県伊豆市

作家・林芙美子をはじめ、名だたる文人墨客が訪れた名旅館。重厚感のある日本建築とモダンな意匠が調和し、国の有形文化財に認定されている。天狗の湯からは伊豆の山々や狩野川を望み、心身ともに癒やされる。

☎0558・85・0014 / 1泊2食7万2000円～ / 14室 / カルシウム・ナトリウム-硫酸塩泉 / 静岡県伊豆市湯ヶ島1887-1 / 伊豆箱根鉄道駿豆線修善寺駅から車15分(送迎あり、要予約)

中棚温泉 中棚荘

長野県小諸市

島崎藤村が教師として小諸に赴任した7年間に足繫く通った宿。千曲川を望み、滞在中に作った詩『千曲川旅情の歌』の中で「岸近き宿」と詠っている。10～3月には代表作『初恋』にちなみ、初恋りんど風呂も。

☎0267・22・1511 / 1泊2食1万4450円～ / 日帰り入浴11:30～14:00、不定休(冬期臨時休あり)。10000円 / 27室 / アルカリ性単純温泉 / 長野県小諸市古城乙1210 / JR小海線小諸駅から徒歩20分



島崎藤村『落梅集』

左 / 地元のリンゴがブカブカと浮かび、ほのかに甘酸っぱい香りが漂う
下 / 藤村が執筆した部屋を復元した、大正館にある藤村の間は人気の客室

